KVM 延長器

KVM-1700S

取扱説明書

Ver 1.0

もくじ

安全上のご注意

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重大な内容を記載しています。
つぎの内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の説明

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。

 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり物的損害を受けることが想定される内容を示しています。

■図記号の説明

禁止（してはいけないこと）を意味しています。
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

指示する行為の強制（必ずしなければならないこと）を意味しています。
具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

警告や注意を意味しています。
具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

図記号の例

 取り扱いの誤りにより過熱、発煙または発火の可能性があることを示しています。

 取り扱いの誤りにより感電する恐れがあることを示しています。

 機器に触れることによって、障害を引き起こす可能性があることを示しています。

 取り扱いの誤りにより高温になり、障害を引き起こす可能性があることを示しています。

 機器の分解を禁止することを示しています。

 必ず電源プラグをコンセントから抜くことを指示するものです。

 必ずアース線を接続するよう指示するものです。

■安全のためにかならず守ること

警告

電源は必ず製品仕様の範囲内でご使用ください。

電圧や低格が異なると、感電や火災の原因になります。

タコ足配線はしないでください。また、アース線は絶対にガス管につながないでください。

過熱・発火の原因になることがあります。

電源プラグは、濡れた手で抜き挿ししないでください。

感電やけがをすることがあります。

電源コードを傷つけたり、加工・加熱したりしないでください。また、電源コードに重いものを乗せないでください。

火災や感電の原因になります。

本システムの機器を、修理・分解・移設しないでください。

火災の原因になったり、感電したりする恐れがあります。

修理・調整は当社窓口にご相談ください。

異臭（こげ臭いなど）や異常な音がしたら、ただちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用すると火災の原因になります。

ただちに使用を中止し、修理を依頼してください。

電源スイッチが入ったままの状態で、電源コードを抜き差ししないでください。

火災の原因になることがあります。

■機器の取り扱いについて

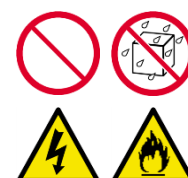
警告

本システムの機器を次の場所に設置しないでください。

- 極端に高温または低温になる場所
- 極端に湿度が高くなる場所
- 水などがかかる恐れのある場所
- 直射日光の当たる場所
- ほこりの多い場所
- 振動する場所、水平でない場所、不安定な場所

故障、事故の原因になります。

本システムの機器の上に腰掛けたり、設置上許される機材以外のものを置いたりしないでください。また、水などをこぼさないでください。

故障や感電、および火災の原因になったり、転倒して怪我をする恐れがあります。

注意

本システムの機器のコネクタには、規定のケーブル以外のものを使用しないでください。またコネクタに異物を挿入しないでください。

故障の原因になります。

本システムの機器をベンジン、シンナーなどの薬品で拭かないでください。

変形・変色することがあります。

本システム機器をご使用中にプログラムおよびデータなどが消失した場合でも、プログラムおよびデータなどの保証は一切いたしかねます。

故障に備えてバックアップをお取りください。

本システムの機器は、人命に関わる設備や機器、または高度な信頼性を必要とする設備や機器への使用、および組込んでの使用を意図しておりません。
これらの設備や機器に本システム機器をご使用され、本システム機器の故障により、事故、火災、損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

■設置作業について

注意

機器の設置を行うときは、必ず電源コードを抜いてください。

必ずアース処理を行ってください。

メンテナンス性を考慮し、ケーブル類は機器が十分引き出せる余裕を持って設置してください。

コード類の折り曲げによる断線に注意してください。

機器類は熱を発します。本体側部および、上部に十分な空間が確保できるように設置してください。

■免責事項

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用、または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記憶内容の変化、消失など）関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書に記述されている内容以外の使い方によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続機器との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

製品概要

- 本製品は、パーソナルコンピュータ（以下 PC）の映像／音声／USB キーボード／USB マウスを延長するための装置です。
  ※映像信号だけを延長することも可能です。
- 映像は 640×480（VGA）から 1920×1200（WUXGA）までの解像度に対応しています。
- 延長には入手しやすい LAN ケーブルを使用します。また、延長距離による映像の劣化を補正する機能を備えています。
  ※シールドタイプの LAN ケーブルも使用できるので、FA 環境下でもご利用可能です。
- USB キーボード／USB マウスのデータは高速 CPU によって転送し、映像／音声はハードウェアによって転送するので、操作追従性は非常に良く、リモート操作による違和感は全くありません。
- PC にソフトウェアをインストールする必要がないハードウェア方式なので、PC の動作状態に関係なくご利用いただけます。

商品構成

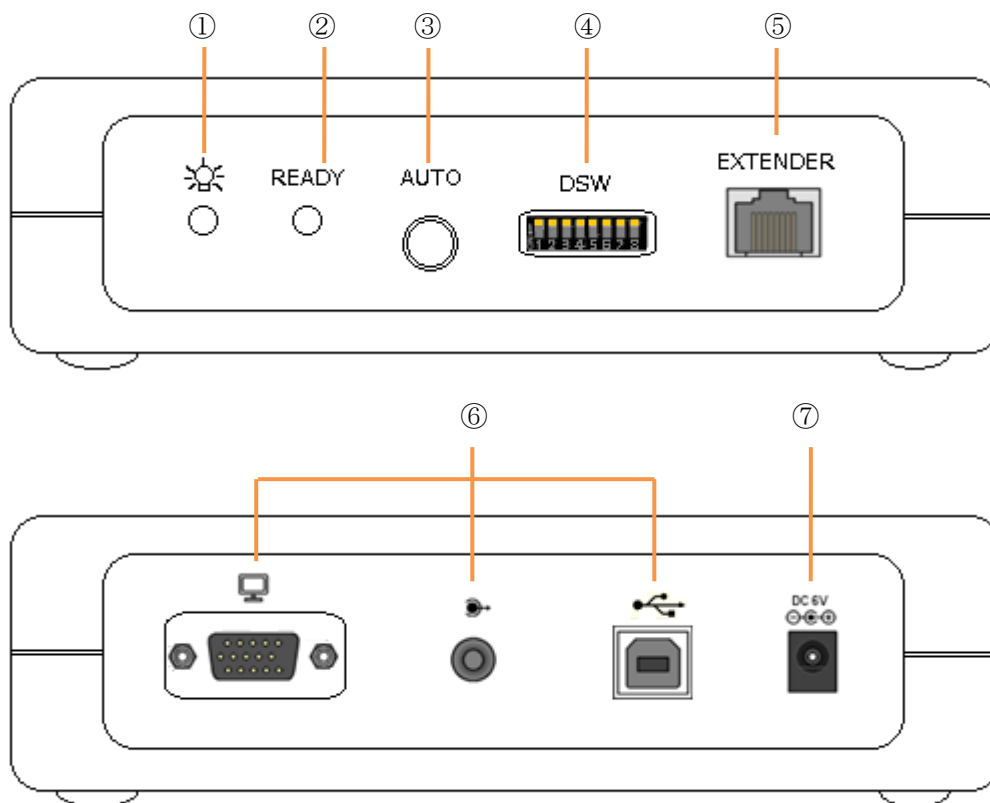
はじめに梱包品が揃っていることをご確認ください。

□ KVM-1700SH（ホストユニット）	1 台
□ KVM-1700SD（デバイスユニット）	1 台
□ AC アダプタ（DC6V）	2 個
□ ホストユニット用 RGB/USB 複合ケーブル（1.8m）	1 本
□ 取扱説明書（本書）、保証書（本書裏表紙）	各 1 部

延長用LANケーブルは含まれていません。ストレート結線LANケーブルを別途ご用意ください（☛ 13ページ）。

オーディオケーブルは含まれていません。音声をご使用の場合は、ステレオミニプラグケーブル（φ3.5）を別途ご用意ください。

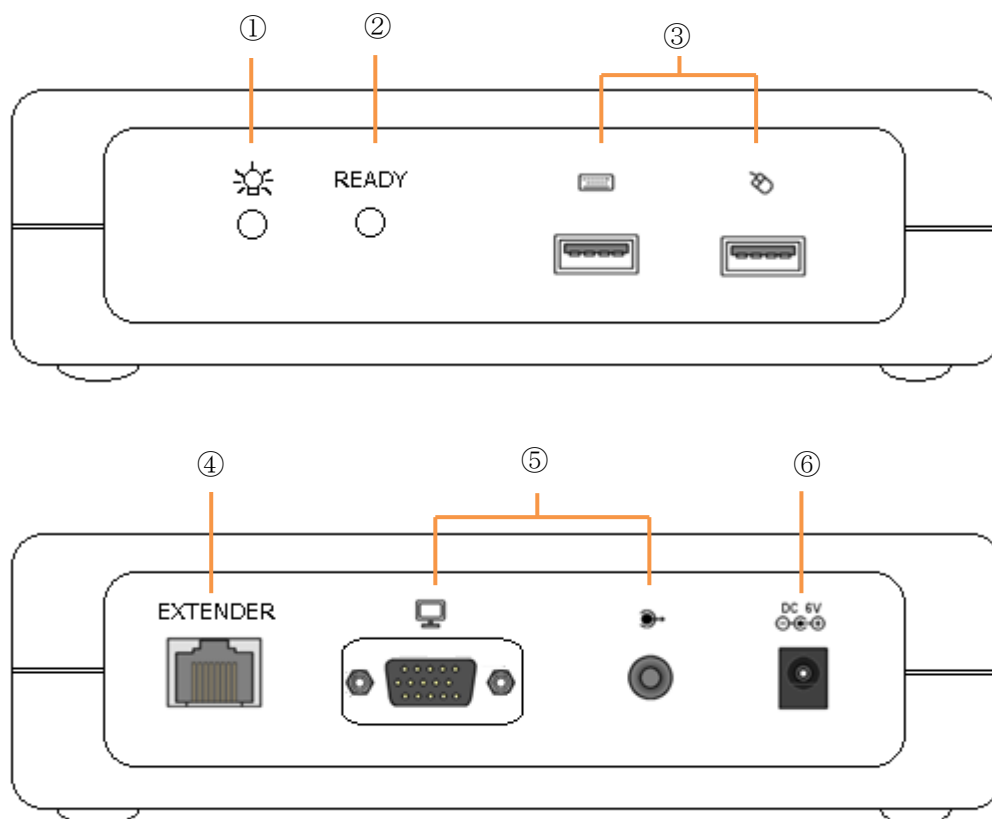
各部の名称と働き

■ホストユニット（KVM-1700SH）

名称	働き（用途）	関連ページ
① 動作状態インジケータ 1	AC アダプタ、延長ケーブル、PC 側 USB 接続＊1の状態を表示します。	☛ 11 ページ ☛ 12 ページ ☛ 16 ページ
② 動作状態インジケータ 2	RGB 映像、USB デバイス接続、キーボード／マウス操作の状態を表示します。	☛ 16 ページ
③ 自動調整スイッチ	延長した映像の位相補正や PC に伝える EDID 情報＊2の登録を行うときに使用します。	☛ 15 ページ
④ 設定スイッチ	映像調整や EDID＊2の設定を行います。	☛ 13 ページ
⑤ 延長ケーブル用コネクタ	LAN ケーブルでデバイスユニットと接続します。	☛ 12 ページ ☛ 13 ページ
⑥ PC 側コネクタ類	付属ケーブルを使用して PC の USB、アナログ RGB 出力、ライン出力＊3を接続します。	☛ 11 ページ
⑦ DC6V 入力	付属の AC アダプタを接続します。	☛ 12 ページ

＊1　KVM-1700SH は PC に対して USB 複合デバイスとして動作します。PC の BIOS が USB 複合デバイスに対応していない場合、BIOS 画面表示中は USB 接続が確立しません。

＊2　[EDID]とは、ディスプレイに表示できる映像信号の条件をコンピュータに伝えるための情報です。

＊3　音声をご使用になる場合は、別途ステレオミニプラグケーブル（φ3.5）をご用意ください（☛ 11 ページ）。

■デバイスユニット（KVM-1700SD）

名称	働き（用途）	関連ページ
① 動作状態インジケータ 1	AC アダプタ、延長ケーブルの状態を表示します。	☛ 10 ページ ☛ 12 ページ ☛ 16 ページ
② 動作状態インジケータ 2	RGB 映像、USB デバイス接続の状態を表示します。	☛ 16 ページ
③ コンソール側コネクタ類	USB キーボード、USB マウスを接続します。	☛ 10 ページ
④ 延長ケーブル用コネクタ	LAN ケーブルでホストユニットと接続します。	☛ 12 ページ ☛ 16 ページ
⑤ コンソール側コネクタ	アナログ RGB ディスプレイ、アンプ内蔵スピーカを接続します。	☛ 10 ページ
⑥ DC6V 入力	付属の AC アダプタを接続します。	☛ 12 ページ

機器の接続

接続作業を行う前にすべての機器の電源を OFF にしてください。

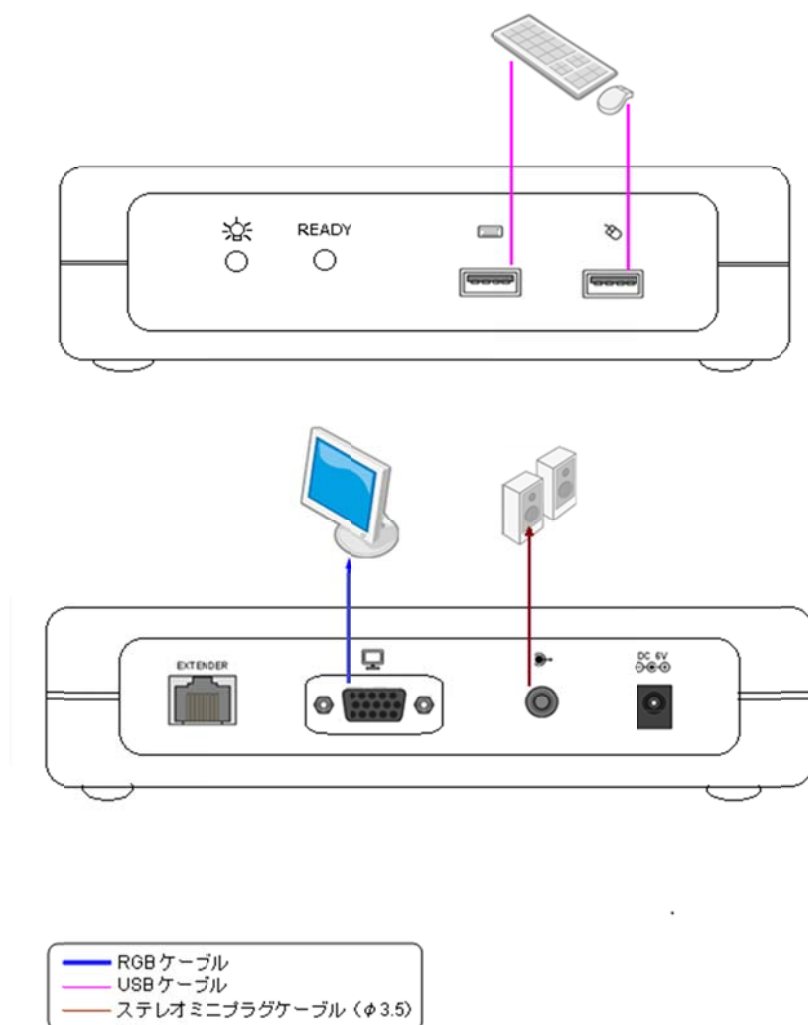
■延長先の接続（デバイスユニット：KVM-1700SD）

① KVM-1700SD と周辺機器の接続

- 本体背面の RGB コネクタ（ ）にアナログ RGB ディスプレイを接続します。
- 本体前面の USB キーボード用コネクタ（ ）に USB キーボードを、USB マウス用コネクタ（ ）に USB マウスを接続します。
- 本体背面のライン出力コネクタ（ ）にスピーカを接続します。

音声をご使用になる場合は、アンプ内蔵スピーカを接続してください。

映像だけを延長する場合は、USBキーボード／USBマウス／スピーカを接続しなくても構いません（下図はすべての機能を利用する場合の例です）。

図1　延長先（KVM-1700SD）の接続方法

■PC 設置場所側の接続（ホストユニット：KVM-1700SH）

① PC と KVM-1700SH の接続

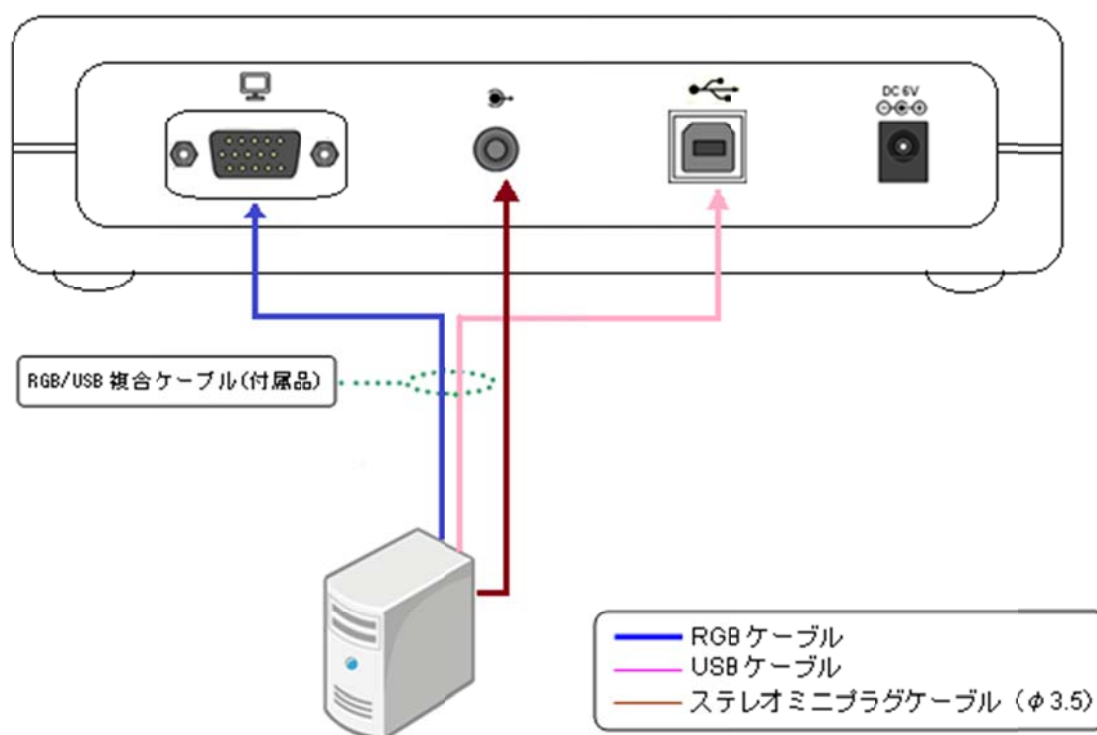
- 付属のホストユニット用 RGB/USB 複合ケーブルで、PC の VGA コネクタおよび USB コネクタを、KVM-1700SH 背面の RGB コネクタ（ ）と USB コネクタ（ ）に接続します。

KVM-1700SHはPCに対してUSB複合デバイスとして動作します。PCのBIOSがUSB複合デバイスに対応していない場合は、本製品に接続したUSBキーボードでBIOS画面を操作することはできません。

映像だけを延長する場合は、USBキーボード／USBマウス／スピーカを接続しなくても構いません（下図はすべての機能を利用する場合の例です）。

- PC のライン出力コネクタと本体背面のライン入力コネクタ（ ）を市販のステレオミニプラグケーブルで接続します。

音声をご使用の場合は、別途ステレオミニプラグケーブル（φ3.5）をご用意ください。

図2　PC 設置場所側（KVM-1700SH）の接続方法

KVM-1700S を使うための準備

本製品には、接続されているディスプレイの EDID（＝ディスプレイに表示できる映像信号の条件をコンピュータに伝えるための情報）を登録する機能があります。このため、必ず下記の順序で電源を投入してください。

① 本製品、および、接続する機器の電源をすべて OFF にします。

② ホストユニット（KVM-1700SH）の前面 DIP-SW（☛ 14 ページ）で、ご使用環境に合わせて EDID を適宜選択します。

③ 各機器を図 1（☛ 10 ページ）、および、図 2（☛ 11 ページ）のように接続します。

④ 延長用 LAN ケーブル（☛ 13 ページ）で KVM-1700SH と KVM-1700SD の「EXTENDER」同士を接続します。

⑤ アナログ RGB ディスプレイの電源を ON にします。

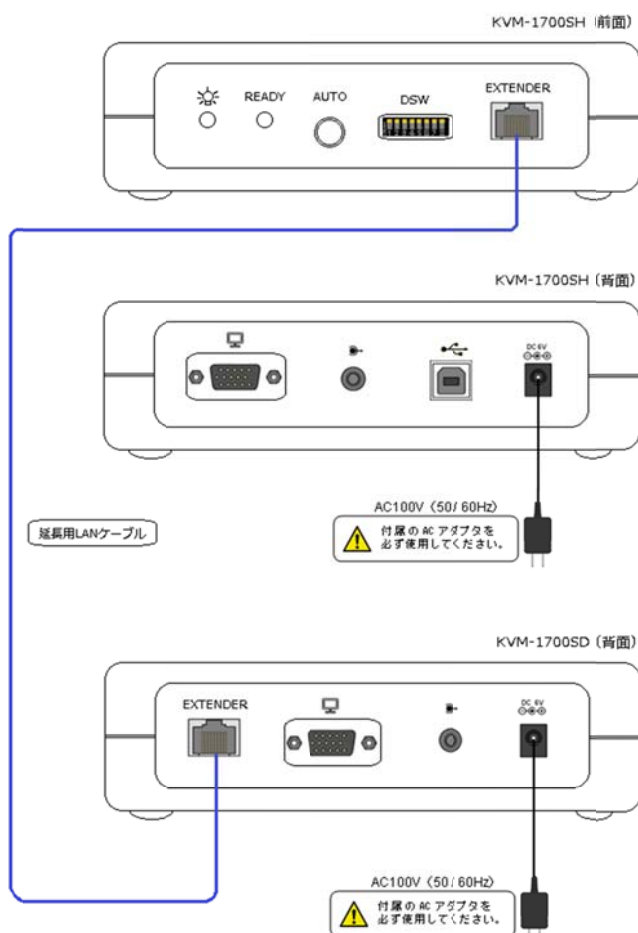
⑥ 付属の AC アダプタを、KVM-1700SD と KVM-1700SH の「DC6V」に接続します。

⑦ KVM-1700SH の〔自動調整スイッチ〕を 1 秒以上押し続けます（☛ 15 ページ）。

⑧ 接続した PC の電源を ON にします。

⑨ ホストユニット（KVM-1700SH）の前面 DIP-SW（☛ 13 ページ）で、延長先映像のコントラストを適宜調整します。

KVM-1700SH は PC に対して USB 複合デバイスとして動作します。PC の BIOS が USB 複合デバイスに対応していない場合、BIOS 画面表示中は USB 接続が確立しません。

図3　KVM-1700S を使うための準備

延長用 LAN ケーブルについて

本製品には延長用 LAN ケーブルは含まれていません。ストレート結線 LAN ケーブルを別途ご用意ください。

- 延長用 LAN ケーブルには、カテゴリー5、カテゴリー5e、カテゴリー6、カテゴリー6e が使用できますが、単線仕様のケーブルを推奨いたします。
- 周囲にノイズ等が発生する場所や FA、医療設備などでご使用される場合は、LAN ケーブルの外被がシールドされている STP 仕様のケーブルをご使用ください。
- 100m 以上延長する場合は、事前にご使用される LAN ケーブルにて映像の品質をご確認頂いた上で、ご使用ください。

ご使用される LAN ケーブルによっては、延長距離に関係なく、延長先の画質が最適にならない場合があります。

各種設定

ホストユニット（KVM-1700SH）の前面 DIP-SW を設定することで、ご使用環境に合わせた最適な設定を行うことができます。

スイッチを下げると ON に、上げると OFF になります。

■延長先映像を調整するための設定

本製品には、延長先映像のコントラストを調整する機能があります。

映像調整用の設定はホストユニット（KVM-1700SH）の前面 DIP-SW で行います。

- コントラストの設定は DIP-SW を操作するたびに自動的に適用されます。映像を目視しながら、ご使用環境において最も映像が見やすくなるように設定してください。

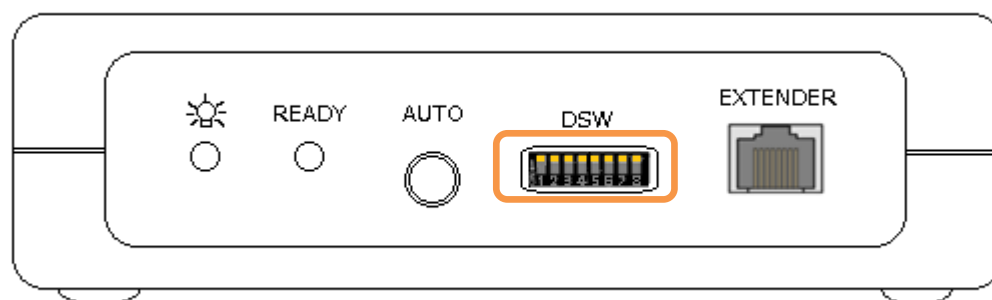



表1　延長先映像を調整するための設定（ホストユニット 前面 DIP-SW2～4）

意味		SW2	SW3	SW4
延長先映像のコントラスト	標準レベル	OFF	OFF	OFF
	強調レベル 1	ON	OFF	OFF
	強調レベル 2	OFF	ON	OFF
	強調レベル 3	ON	ON	OFF
	強調レベル 4	OFF	OFF	ON
	強調レベル 5	ON	OFF	ON
	強調レベル 6	OFF	ON	ON
	強調レベル 7	ON	ON	ON

■EDID 情報を選択するための設定

本製品には、延長先のデバイスユニット（KVM-1700SD）に接続されているディスプレイの EDID を登録する機能があります。また、接続されているディスプレイとは無関係に、規格に準拠した固定の EDID を選択することもできます。
※「EDID」とは、ディスプレイに表示できる映像信号の条件をコンピュータに伝えるための情報です。

EDID 情報の選択はホストユニット（KVM-1700SH）の DIP-SW で行います。

- DIP-SW を操作しただけでは選択した EDID 情報は適用されません。本体前面の〔自動調整スイッチ〕を 1 秒以上押し続けることによって、EDID 情報が登録されます（☛ 15 ページ）。
  ホストユニットのスイッチ操作でおこないます。

表2　EDID 情報を選択するための設定（ホストユニット 前面 DIP-SW1，5～8）

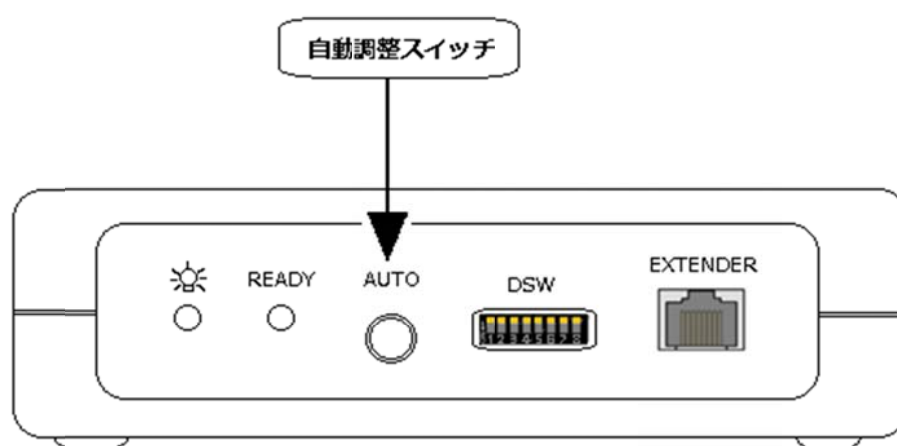
意味	SW1＊1	SW5	SW6	SW7	SW8	番号
延長先ディスプレイの EDID	-	OFF	OFF	OFF	OFF	0
推奨解像度 800×600 の標準 EDID	-	ON	OFF	OFF	OFF	1
推奨解像度 1024×768 の標準 EDID	-	OFF	ON	OFF	OFF	2
推奨解像度 1280×720 の標準 EDID	-	ON	ON	OFF	OFF	3
推奨解像度 1280×1024 の標準 EDID	-	OFF	OFF	ON	OFF	4
推奨解像度 1366×768 の標準 EDID	-	ON	OFF	ON	OFF	5
推奨解像度 1440×900 の標準 EDID	-	OFF	ON	ON	OFF	6
推奨解像度 1600×900 の標準 EDID	-	ON	ON	ON	OFF	7
推奨解像度 1600×1200 の標準 EDID	-	OFF	OFF	OFF	ON	8
推奨解像度 1680×1050 の標準 EDID	-	ON	OFF	OFF	ON	9
推奨解像度 1920×1080 の標準 EDID	-	OFF	ON	OFF	ON	A
推奨解像度 1920×1200 の標準 EDID	-	ON	ON	OFF	ON	B
（予約）1024×768	-	OFF	OFF	ON	ON	C
（予約）1024×768	-	ON	OFF	ON	ON	D
（予約）1024×768	-	OFF	ON	ON	ON	E
（予約）1024×768	-	ON	ON	ON	ON	F

＊1　DIP-SW1 は無効です。
☞　番号 1～F（C～F は予約）が固定 EDID です。
☞　番号が“0”で、延長先モニターの EDID が認識されなかった場合は 1024×768 とします。
☞　番号が“0”以外の場合は、スイッチで設定された固定 EDID を採用します。

延長先の映像位相補正と EDID 情報の登録

映像信号を延長した際に、RGB の各信号間に位相のずれが生じることがあります。これは出力映像の色ずれの原因となります。本製品には RGB 信号の位相を補正することにより、色ずれを極力低減させる機能があります。

また、本製品には、延長先のデバイスユニット（KVM-1700SD）に接続されているディスプレイの EDID、または、接続されているディスプレイとは無関係に、規格に準拠した固定の EDID を登録する機能があります（☛ 14 ページ）。
※「EDID」とは、ディスプレイに表示できる映像信号の条件をコンピュータに伝えるための情報です。

ホストユニット（KVM-1700SDH）本体前面の〔自動調整スイッチ〕を1秒以上押し続けることによって、位相補正と EDID 情報の登録を行なうことができます。

- 映像の位相補正処理中は、延長先ディスプレイには何も表示されない状態になり、動作インジケータ 2 が赤色点灯状態になります（☛ 16 ページ）。また、デバイスユニットでの USB キーボード／USB マウス操作も一時的に無効となります。
- 延長用 LAN ケーブルを接続した状態で本体電源を投入すると、〔自動調整スイッチ〕を操作しなくても位相補正が自動的に実施されます。また、延長用 LAN ケーブルを一旦外した後で再度接続した場合や、外乱ノイズなどによる通信エラー発生時の復帰処理後にも自動で位相補正機能が働きます。

延長用 LAN ケーブルを交換した場合は、ホストユニット前面 DIP-SW で延長先映像のコントラストを適宜調整し直してください（☛ 13 ページ）。

- ご使用のディスプレイに映像調節機能が備わっている場合は、これらの機能も併せて調整してください。なお、ディスプレイ機器側での映像調整は本製品の位相補正後に行なってください。

ディスプレイを入れ換えたり、EDID 情報選択設定（ホストユニット DIP-SW）を変更した場合は、〔自動調整スイッチ〕を操作して EDID 情報を登録し直してください。更に、登録し直した EDID 情報を反映させるために、PC を再起動してください。

動作状態のインジケータ表示

AC アダプタを接続して本製品の電源が ON になると、動作インジケータ 1 と 2 が点灯します。各インジケータの表示内容と本製品の動作状態の関係は、下表のようになります。

表3　動作インジケータ 1 の表示

表示内容	状態
消灯	AC アダプタが接続されていない。
赤色点灯	延長用 LAN ケーブルが接続されていない＊1。 （ホストユニット、デバイスユニットのインジケータが表示）
ピンク色点灯	KVM-1700SH と PC の間の USB 接続が確立していない＊2。 （ホストユニット、デバイスユニットのインジケータが表示）
青色点灯	AC アダプタ、延長用 LAN ケーブル、USB が正常に接続されている。

＊1　ノイズ信号レベルが高い環境でご利用の場合は、延長用 LAN ケーブルが正しく接続されていても、外乱ノイズの重畳によってユニット間で通信エラーが発生し、動作インジケータ 1 が一時的に赤色になるケースがあります。
※この条件に該当しないにも関わらず、赤色点滅状態が持続した場合は当社までご連絡ください。

＊2　KVM-1700SH は PC に対して USB 複合デバイスとして動作します。PC の BIOS が USB 複合デバイスに対応していない場合、BIOS 画面表示中は USB 接続が確立しません。

表4　動作インジケータ 2 の表示

表示内容	状態
消灯	デバイスユニット側で USB キーボード／マウス操作が行われている。 （ホストユニットのインジケータのみ表示）
赤色点灯	RGB 映像出力停止状態になっている（映像の位相補正処理中を含む）＊1。 （ホストユニット、デバイスユニットのインジケータが表示）
ピンク色点灯	デバイスユニットに USB キーボードも USB マウスも接続されていない。 （デバイスユニットのインジケータのみ表示）
青色点灯	USB キーボードまたは USB マウスが接続されており、RGB 映像が出力されている。

＊1　映像の位相補正中（☛ 15 ページ）は、延長先のディスプレイには何も表示されない状態になります。
また、位相補正中は PC の誤操作を防ぐためにデバイスユニットの USB キーボード／USB マウス操作が一時的に無効になります。

音声出力

本製品の音声出力で直接スピーカを駆動することはできません。スピーカを接続する場合はアンプ内蔵タイプをご使用ください。また、本機にボリュームは付いておりませんので、音量の調整は PC 側またはスピーカ側のボリュームで行なってください。

電源の OFF 手順

本製品には電源スイッチはありません。電源を切る場合は、PC を先にシャットダウンしてから本製品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。

仕様

■ホストユニット（KVM-1700SH）

項目		
対応パソコン	VGA コネクタ（高密度 Dsub15pin）が装備されていること USB コネクタが装備されていること（USB1.1 準拠、HID1.11 対応）[＊1] ステレオミニジャックが装備されていること（接続省略可）	
対応キーボード 対応マウス	USB キーボード／マウス（USB1.1/2.0 の Low/Full speed、HID1.10/1.11 準拠品） ※専用ドライバや機能追加のアプリケーションソフトウェアには対応していません。	
対応ディスプレイ	VGA コネクタ（高密度 Dsub15pin）が装備されているマルチスキャンモニタ ※パソコンに対する EDID 機能に対応（ただし、Extension Block には対応していません）。	
RGB 入力	入力信号レベル	0.7Vp-p（75Ω負荷）
	対応解像度	640×480（VGA）～1920×1200（WUXGA）: 60Hz
RGB 出力[＊2]	出力信号レベル	入力レベルと同じ
	出力解像度	入力解像度と同じ
音声入出力	周波数特性	60Hz～7kHz（-3dB）
	入出力信号レベル	3Vp-p max
	入力信号インピーダンス	10kΩ以上
	出力インピーダンス	300Ω以下
インターフェース （パソコン）	RGB 入力	Dsub15pin　オス×1
	USB コネクタ	USB TypeB　×1
	LINE 入力	ステレオミニジャック　φ3.5×1
外形寸法	幅 130mm×奥行き 94mm×高さ 34mm（突起物及びゴム足を含まない）	
重量	220g 以下	
電源	DC6V　※付属の AC アダプタ使用のこと	
消費電力	4W 以下	

＊1　KVM-1700SH は PC に対して USB 複合デバイスとして動作します。PC の BIOS が USB 複合デバイスに対応していない場合は、本製品に接続した USB キーボードで BIOS 画面を操作することはできません。

＊2　本体電源が OFF の場合、出力画像は表示されません。

■デバイスユニット（KVM-1700SD）

項目		
対応キーボード 対応マウス	USB キーボード／マウス（USB1.1/2.0 の Low/Full speed、HID1.10/1.11 準拠品） ※専用ドライバや機能追加のアプリケーションソフトウェアには対応していません。	
対応ディスプレイ	VGA コネクタ（高密度 Dsub15pin）が装備されているマルチスキャンモニタ ※EDID 対応（ただし、Extension Block には対応していません）。	
RGB 出力[＊1]	出力解像度	ホストユニットから送出される解像度と同じ
音声出力	周波数特性	60Hz～7kHz（-3dB）
	出力信号レベル	3Vp-p max
	出力インピーダンス	300Ω以下
インターフェース （コンソール）	RGB 出力	Dsub15pin　メス×1
	USB コネクタ	USB TypeA　×2
	LINE 出力	ステレオミニジャック　φ3.5×1
外形寸法	幅 130mm×奥行き 94mm×高さ 34mm（突起物及びゴム足を含まない）	
重量	220g 以下	
電源	DC6V　※付属の AC アダプタ使用のこと	
消費電力	6W 以下	

＊1　本体電源が OFF の場合、出力画像は表示されません。

■その他

延長距離	10m～200m
環境条件	温度－5℃ ～ 50℃　　　　　湿度 20％ ～ 85％（但し結露なきこと）
付属品	AC アダプタ（DC6V）×2、ホストユニット用 RGB/USB 複合ケーブル（1.8m）、取扱説明書（本書）、保証書（本書裏表紙）

外観及び仕様は、お断り無しに変更する場合があります。

製品保証

- 本製品の保証期間はお買上げより１年間有効です。
- 保証規定については保証書に記載してあります。
- 保証書は、大切に保管してください。お問い合わせ時に必要な場合があります。
- 保証期間を経過した製品の保守、修理などは有償とさせて頂きます。

お問い合わせ

●製品のご購入や製品に関するご質問は下記までお問合わせください。

製品および各種見積お問合せ営業時間
月曜日～金曜日（祝祭日を除く）
１０：００～１７：４５

●メールでお問い合わせいただく場合

貴社名、部署名、ご氏名、ご質問内容をご記入の上、お送りください。
ご記入内容を確認の上、メールでご回答申し上げます。

製品販売に関するお問合せ　sales@round.ne.jp

製品技術に関するお問合せ　tech@round.ne.jp

上記以外に関するお問合せ　round@round.ne.jp

●お電話でお問い合わせいただく場合

弊社　営業部
月曜日～金曜日（祝祭日を除く）

ＴＥＬ：本社　0774-33-5282(代)

●ＦＡＸでお問い合わせいただく場合

必要事項をご記入の上、お送りください。
ご記入内容を確認の上、ご回答申し上げます。

ＦＡＸ：本社　0774-33-5297

カスタマイズ

外部通信による制御など、カスタマイズについては上記営業部へお問い合わせください。

保　証　書

製品名	KVM 延長器		
型番	KVM-1700S	製造番号	※ ＿ ＿ ＿ ＿ ＿ ＿ ＿ ＿ ＿
保証期間	お買い上げ日から１年間有効	ご購入日	年　　月　　日
	ご購入日が証明できるものを添付してください。添付がない場合は当社出荷日を保証期間の基準とさせて頂きます。		
販売店様			
	ご連絡先		
お客様	お名前（会社名）		
	ご住所		
	ご連絡先		

※印の製造番号は本体裏面（リアパネル）に９桁の英数字で記載されています。

修理品送付先
株式会社ラウンド 製品修理センター　宛 〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄芝東 3-9 TEL：0774-33-5282

保証条項

1. 保証期間中に故障して無料修理を受ける場合には製品と保証書を添付して、㈱ラウンド製品修理センターへご送付ください。ご送付時の送料はご負担ください。
2. 保証期間内でも以下のような場合は有料修理となります。
   - ・使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   - ・火災、地震、水害、落雷その他天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
   - ・お買い上げ後の輸送、移動時の落下、衝撃等お取扱いが不適当なため、生じた故障及び損傷。
   - ・㈱ラウンド製品修理センター以外で不当な改造、修理、調整、部品交換などをされた場合。
   - ・消耗品の交換。
   - ・保証書の紛失等により、ご購入日をご提示いただけなかった場合。
3. 本製品の故障またはその使用上生じたお客様の直接、間接の損害につきまして、当社はその責に任じません。
4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
5. 本保証書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

ROUND 株式会社ラウンド

〒611-001　京都府宇治市五ヶ庄芝東３－９

電話　０７７４－３３－５２８２
FAX　０７７４－３３－５２９７

メール　round@round.ne.jp
HP　http://www.round.ne.jp/

2015/02